

# あらかわ 区議会だより

No.223

平成 26 年 1 月 12 日発行

編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>  
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話 03-3802-3111(代表)

新年号  
平成 25 年第 4 回定例会号

## 迎春 新年のあいさつ

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年9月、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定しました。このことは、地域経済の活性化に大きな力を与えるとともに、子ども達にはふるさと東京で開催するオリンピック・パラリンピックに出場するという大きな夢と希望を与えることができると考えています。

区においては、基本構想で掲げた将来像の「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、「災害で一人の犠牲者も出さない」との強い決意のもと、木密地域不燃化10年プロジェクトの重点的・集中的な取り組みに加え、隅田川の河川水等を活用した永久水利の整備に着手しました。さらに、糖尿病重症化予防事業、待機児童解消に向けた保育施設の整備、一店逸品運動の推進による商店街の活性化、「奥の細道千住あらかわサミット」プレイベントの実施など区政の各分野で施策の展開を図り、着実に成果をあげることができました。

また、昨年6月、本区呼びかけで発足した、「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合」(通称「幸せリーグ」)に、北海道から九州まで、60近くの自治体に参加しています。このことは、住民が幸せを感じる行政運営を目指す本区と志を同じくする自治体が全国各地に広がっていることを示していると考えています。

一方、区議会では、昨年の第3回定例会において、これまで「議会改革に関する検討」の一環として取り組んできた「議会基本条例」を制定しました。この条例は、議会及び議員の活動原則など議会の基本的事項を定めることにより、議会がその権能を発揮し区民の負託に応え、区民福祉の向上及び区政の発展に寄与することを目的としています。さらに、新たな取り組みとして、会期を通年とする「通年議会」を実施することとしました。

区議会といたしましては、区長と区議会が緊密な連携のもと、積極的な政策提言を通じ、区民の皆様の声を十分に反映させた的確な施策の展開を図ってまいります。

結びに、区民の皆様にとって本年が幸多い年となるようお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



議長 志村 博司



副議長 吉田 詠子

## 議案の審議結果

平成 25 年 第 4 回定例会

○ 賛成 × 反対 一 退席  
太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果	
	自由民主党 荒川区議会議員団	公明党 荒川区議会議員団	日本共産党 荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	日本創 新党	荒川区改革の会		
<b>議員提出議案 (1 件)</b>									
第 16 号	東京都の「地域危険度測定調査」の公表に伴い責任ある対応を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
<b>区長提出議案 (6 件)</b>									
第 78 号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 79 号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 80 号	荒川区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	可決
第 81 号	荒川区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	可決
第 82 号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	可決
第 83 号	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	可決

## 区議会第4回定例会

区議会第4回定例会は、11月27日から12月9日までの13日間の会期で開かれました。

本会議の1日目と2日目には、5人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。

本定例会では、意見書1件、議案6件が原案どおり可決されました。

## 第4回定例会日程

11月27日	本会議
11月28日	本会議
11月29日	総務企画委員会 福祉・区民生活委員会
12月3日	文教・子育て支援委員会 建設環境委員会
12月6日	議会運営委員会
12月9日	本会議

## 掲載記事のご案内



あらみい あら坊

区政のこころを

一般質問要旨

並木 一元議員(自民党)  
萩野 勝議員(公明党)  
横山 幸次議員(共産党)  
竹内 明浩議員(民主・市民)  
明戸真弓美議員(自民党)  
議事を傍聴しませんか

## 4面

新春を迎えて  
—各会派新年の抱負—  
各会派の構成

## 意見書提出

本定例会では1件を可決し、関係機関に提出しました。

東京都の「地域危険度測定調査」の公表に伴い責任ある対応を求める意見書

(東京都知事あて)



# 区政のごまをきく

## 一般質問要旨

### 災害に強い街づくりの推進と区民の平均寿命を延ばすための対策を問う



並木 一元  
(自民党)

災害に強い街づくりの推進を問う

**問** 都の地域危険度調査で、荒川区内の地域、特に町屋・荒川地区の地震に対する危険性が高いと公表された。木密地域の改善は重要課題だ。区の積極的な改善への取り組みのほか、空き家除却や不燃化していない家屋の建て替え促進のための権限強化・財源確保に向けて国や都に積極的に働きかける必要があるのではないかと。

**答** 道路拡幅や公園整備などに加え、不燃化特区制度を積極的に活用し、「戸建て建替え助成事業」及び「老朽木造建築物の除却事業」を創設した。これらは自己負担が不要となるなど、踏み込んだ取り組みとなっている。今後も国に対し、除却や建て替えに関する権限の委譲や財源を要望していく。

**問** 区は震災火災に対応する消火用水を確保する永久水利施設の整備を積極的に進めている。深井戸整備等による地下水利用は、隅田川から一定の距離があり、河川水が利用できない地区の水利として有効に機能すると考えるがどうか。

**答** 区は永久水利施設の整備を進

### 荒川区政の基本的な課題と町屋地域の発展に向けて



萩野 勝  
(公明党)

荒川区政の基本的な課題を問う

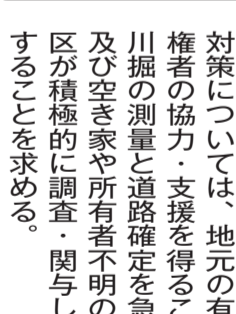
**問** 地域の民たちや企業、各種団体、NPOなどが地域で様々な役割を担っている中で、行政には新しい秩序、すなわち新しいガバナンスが必要になる。区の方バナスの在り方について見解を問う。

**答** 様々な活動を行う地域の担い手と区が、対等なパートナーとして手を携えていくことがこれからの社会の新たな秩序であり、求められるガバナンスの在り方だと考えられる。区の地域力を生かし、提案されたガバナンスの実現を目指す。加えて、区のサービスの一翼を担う指定管理者についても、指定管理施設運営協議会において、施設の責任者に対して区長が直接、区長の考えを説明している。

**問** コンプライアンスの徹底には客観的で専門的な視点で検証及び助言する仕組みが必要であり、第三者機関や外部有識者等の充実を図らなければならぬ。総合的なコンプライアンスの推進計画を整えておくべきだと考えるがどうか。

**答** 区政経営戦略プランに掲げるコンプライアンスに関する規定を

### 尾竹橋公園の用地拡張の整備は、いつ頃開始するのか。整備時には、スーパー堤防との一体的整備を目指すべき。



並木 一元  
(自民党)

尾竹橋公園の用地拡張の整備を問う

**問** 尾竹橋公園は、ダイオキシン汚染土の問題もあり、都と積極的に協議を重ね、早期の公園整備の着手を目指す。

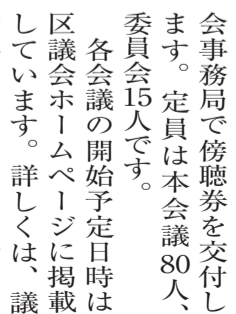
**答** 町屋二・三・四丁目地区の整備対策については、地元の有効な地権者の協力・支援を得ることや、川掘の測量と道路確定を急ぐこと、及び空き家や所有者不明の土地は区が積極的に調査・関与して対処することを求める。

**問** 土地所有者の協力や支援を得ることは重要な視点である。江川掘は沿道住民と境界確定を含めた話し合いを進める。老朽空き家や所有者不明の土地は導入予定の老朽木造建築物の除却事業等を活用して木密地域の改善を図る。

**問** 福祉・健康政策について

**答** 区の社会インフラ整備について

### 議事を傍聴しませんか



並木 一元  
(自民党)

議事を傍聴する

本会議、委員会は傍聴することができます。区議会を傍聴することは、区議会の活動を知る身近な方法です。

傍聴をご希望の方には、会議当日に区役所5階の議会事務局で傍聴券を交付します。定員は本会議80人、委員会15人です。

各会議の開始予定日時は区議会ホームページに掲載しています。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

内線 3614



各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録ができ次第、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区議会ホームページ  
(<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>)で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。

あわせてご利用ください。



あらみい あら坊



### 大地震から区民の命と財産を守る対策の抜本的な強化と教育行政の在り方を問う



横山 幸次 (共産党)

大地震から区民の命と財産を守る対策の抜本的な強化を  
問 地震の地域危険度を調査し公表した都に対し、責任を持って改善に向けた具体的な支援策実施を求めること。区も特別な体制を作り年次目標を持って取り組むこと。  
答 都には、創設された「戸建て建替え助成事業」に加え、建築工事費に対する新たな補助制度を要請する。区では、建て替え促進や永久水利施設の整備を進めている。  
問 密集市街地整備事業推進のた

め、区民住宅空き室の活用や公的住宅の供給などを検討すること。  
また都に対し、公的住宅の新規建設や、事業用都営住宅を大量に供給するよう強く求めること。  
問 区民住宅の空き室活用は、審議中である区住宅対策審議会から答申を受け区の方針を定める。都に対し、都営住宅等の優先的かつ旋回の拡大を働きかける。  
問 高齢者・障害者の家具転倒防止金具設置事業は、団地自治会等との連携で進んでいる事例もある。

全対象世帯完了に向けた実施状況と制度拡充の検討状況を問う。  
問 町会・自治会で申請を取りまとめる方法を新たに実施し、効果が表れている。事業の見直しは、申請方法の工夫と並行して検討作業を精力的に進めている。  
問 教育行政の在り方を問う  
答 タブレットパソコンの全児童生徒への導入方針は、区長の政策判断として予算化されたことで、教育委員会での十分な教育的議論が阻害されたのではないかと。

点から詳細に成果の検証を行い、全校導入に向けて取り組む。  
問 学区の学齢簿の半分を受け入れ規模が小さい日暮里地域中学校問題は、緊急に解決すべき。また、少人数学級への移行を展望した施設整備を求める。  
問 中長期的な展望に基づいて、新設開校や新校舎建設をしてきた。今後とも、適正な入学状況の把握に努め、施設整備に取り組む。その他の質問項目  
○特定秘密保護法に自治体の長として反対の態度表明をすべき  
○区民のくらしと命を守る対策の実施について  
○ブラック企業根絶に向けた各種取り組みについて  
○保育園の充実について

### 成年後見制度の積極的活用の一環としての「市民後見人」養成強化と防災対策を問う



竹内 明浩 (民主・市民)

成年後見制度の積極的活用の一環としての「市民後見人」養成強化を  
問 成年後見制度の区における取り組みと実績を問う。  
答 区における24年度の成年後見制度の区長申立件数は17件、社会福祉協議会が実施する法人後見は3件となっている。一般市民を後見人とする例は現在のところない。

が、今後、市民後見人の必要性は増すと考えている。  
問 今後、成年後見人の担い手である弁護士等専門職の不足が懸念されている。地域住民による市民後見人の早期養成と活動支援の取り組みが急務だと考えるがどうか。  
答 市民後見人として活動するためには養成研修を受ける必要がある。社会福祉協議会との連携や隣区等と養成研修の共同実施等を検討しており、今後育成に努める。  
問 防災対策を問う  
答 隅田川の水を利用した永久水利の整備を評価するが、同時に迅速な消火活動や延焼防止活動を行うために、水利近くに必要資器材も用意すべきと考えるがどうか。  
答 永久水利は、隅田川からの水を貯水した場所に施設等を置くべきとの意見はそのとおりである。今後、「永久水利整備活用推進協議会」でも、その意見を提出していく。  
問 PTAによる設置委員会が行う校庭開放時に地震等の大規模災害が発生した場合、どのように対応したらよいか。対応マニュアルを策定し、関係者に周知すべき。校庭利用に協力いただきたい。

る方が震災時でも子どもたちの安全確保ができるよう、具体的な対応方法を手引きに盛り込んでいく。  
問 親子で学ぶ防災訓練「カエルキャラバン」は防災を考えるよいきっかけになり、地域の防災力強化につながるかと確信する。教育委員会として積極的に周知等すべき。  
答 地域防災力の強化のためには、繰り返し訓練に参加いただくことが重要であり、こうした区民の自主的な防災の取り組みが広まるよう防災教育の推進に努めていく。その他の質問項目  
○ボランティア先進都市を目指して  
○タブレットパソコン教育

### 小中学校のタブレットパソコン導入と「(仮称)あらかわしたまち博」実現を問う



明戸 真弓美 (自民党)

小中学校のタブレットパソコン導入を問う  
問 全小中学校へのタブレットパソコン導入に際し、繰り返し学習することで学力が定着するドリル学習を利用できる環境を整えてはどうか。また、ドリル学習は、放課後の補習学習でも効果を発揮すると考えるが、見解を問う。  
答 ドリル学習の履歴をタブレットパソコンに蓄積することで個々の理解度等に応じた学習を実践できる。各単元のまとめなど、授業時間帯だけでなく放課後の補習学習等に積極的に活用したい。  
問 タブレットパソコン導入でデジタルの力を最大限活用し、小学生を対象とした、荒川区を再発見する「デジタルアート・コンテスト」を実施してはどうか。  
答 デジタルアートは、従来の芸術の枠を超えた可能性を秘めており、教育活動に取り入れることで、表現力や創造力、情報活用能力の育成につながる。コンテスト等の実施も積極的に検討していく。  
問 デジタル力と同時にアナログ力の育成に力を入れなくてはならない。感情表現を促したり、協

して問題解決する人間力を育てる「遊び」の普及のために、子どもたちが「遊び」を体験できる機会を作ってほしいと考えるがどうか。  
答 子どもたちには、遊びを通して直接体験できる機会が重要である。情報化社会に通用する能力の育成や、自然や社会の現実に触れる直接体験の充実など、バランスの取れた質の高い教育活動を展開する。  
「(仮称)あらかわしたまち博」実現に向けて  
問 区の観光資源には多くの固有の魅力がある。地域の魅力を高め、内外に発信するため、様々な分野に関わる人たちが一堂に集まって意見交換し、アイデアを出し合う会議体を立ち上げてはどうか。  
答 現在、観光振興でまちを盛り上げたいという団体が様々な活動をしており、団体の相互連携により広がりのある活動にしていける必要がある。提案の会議体もその手法の一つと考え、関係団体等の意見も聞きながら検討を進める。  
問 各地で「まちを歩いて魅力を楽しむ」博覧会が開催されている。同様に区全体を博覧会会場に見立て楽しんでもらう「(仮称)あらかわしたまち博」を、区民による企画・実施で開催してはどうか。  
答 提案のイベントが開催できれば、地域活性化や地域意識の醸成にもつながる。既に区内でにぎわい創出に取り組む団体もあることから、働きかけるとともに、他団体の取り組みについても調査研究し、検討を進める。  
問 公共機関が保有するデータを、利用可能な形で公開するオープンデータの先行的な取り組みが始まっている。区も観光振興の観点で、観光資源に関連する情報を公開し、そのデータを区民や区内企業に自由に活用してもらうはどうか。  
答 公開したデータを区民や区内企業が自由に活用することは、区内企業の育成の観点からも有用と考える。いくつかの課題もあり、先進事例を参考に検討する。その他の質問項目  
○若者・生活保護受給者・障害者の就労支援について  
○区民の体力向上  
○副校長の多忙感解消のために

### 平成26年荒川区議会第1回定例会は2月中旬に開会する予定です。



# 新春を迎えて

## 各会派新年の抱負

### 自民党

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、2020年東京オリンピック開催決定を多くの国民と共に喜びたいと思います。

現在、我が国政府はアベノミクスと呼ばれる経済対策を進めており、一部では景気回復してきましたが、区民の皆さまが実感できるまで来ておりません。

私たち自民党区議団は、区民の皆さまのご要望を確実に把握し、弱い立場の方々ははじめ、必要ならに必要なサービスを適切に提供するとともに、そのための財源を生み出すさらなる行政改革の徹底と健全性を維持した積極的な財政

運営を行うことを基本理念として、西川区政を支え、「自助」を基本に「共助」と「公助」が補完し合う安全・安心な地域社会の実現に向け全力を尽くしてまいります。

【健康・福祉・障害者支援】  
全ての区民が生涯にわたって健康に暮らすことができるよう、介護サービスの質の向上、介護予防対策の充実、早世予防、健康増進策の推進に努めます。総合的な介護予防や生活支援サービス、35歳健診、糖尿病対策事業を推進します。また障害者の就労支援対策や、親なき後の対策についても充実を図ってまいります。

### 民主・市民

新年のご挨拶を申し上げます。壊れない街・燃えない街、災害に強い街づくり、そして子どもから高齢者まで「癒しの場と活躍の場のあるまち荒川区」を目指し取り組んでまいります。

【福祉】市民後見人の養成、障がい者就労・中間的就労の場の拡大、グループホームの整備、介護予防の推進、在宅医療・介護の充実。

【子育て・教育】保育・教育の質の向上、待機児童ゼロの実現、一時保育の拡大・充実、インクルーシブ教育の推進、障がい者教育の充実、タブレットパソコン導入の十分な検証。

【防災】スタンバイパイプの全町会、自治会への配備、人命救助のため必要資器材の配備、防災女性リーダーの育成。

自由民主党  
荒川区議会議員団  
幹事長 鳥飼 秀夫  
副幹事長 北城 貞治  
副幹事長 明戸 真弓  
菅谷 元昭  
若林 清子  
小坂 眞三  
服部 敏夫  
並木 一夫  
齊藤 泰紀  
守屋 誠  
志村 博司

### 公明党

初春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年の3月、東日本大震災より3年が経過いたします。どなたにとっても今だ心に深く残る、忘れられない、忘れてはならない災害であります。被災者支援のひとつとして公明党が提案してきた、「防災減災ニューディール対策」は国の政策の中に盛り込まれ、復興の大きな後押しとなっていることは間違いなく確信しています。

さて本年11月、公明党は結党50周年を迎えます。「大衆とともに」との原点に立ち返り、「全国3000名議員のネットワーク」を最大限に発揮し、様々な災害で被災された方々の復興と経済対策・社会保障の充実に全力で取

り組んでまいります。私たち公明党区議団は昨年10月平成26年度予算に関する要望書を区に提出いたしました。

### 共産党

新年明けましておめでとうございます。

東日本大震災、福島原発事故から今年で3年目。しかし被災地では、被災者の9割の方が未だに仮設住宅など避難生活です。震災復興、原発事故の収束・原発ゼロこそ日本政治の最大課題です。区政でも大地震から区民の命と財産を守る取り組みが待ったなしです。

また、年金削減や社会保障切り下げによる負担増、収入減少、非正規雇用の増大に加えて4月予定の消費税増税では、くらしも経済も壊されます。いまこそ自治体本来の役割を発揮するべきです。区政では、多額の事業費が必要な大型複合施設のパッケージ化、タブレットパソコン導入や駅前拠点

### 日本創新党

開発など見直し、くらし最優先の予算編成にすべきです。日本共産党区議団は、計画的な財政運営で

○密集市街地整備など震災対策の抜本拡充○待機児童ゼロへ保育園の増設と質の確保○介護保険料、利用料の減額免除制度の創設○教育費の公費負担拡大、就学援助の基準緩和○住宅リフォーム助成と商店リニューアル助成創設○適正賃金を保障する公契約条例制定…などの実現に力をつくします。

昨年、安倍政権が強行した秘密保護法に対して、憲法擁護、国民の知る権利・民主主義を守る世論と運動が大きく広がっています。「戦争のできる国づくり」を許さず、平和と国民のくらしを守る希望が持てる年にするため、みなさんと力を合わせてがんばります。

### 元気クラブ

安倍政権のやり方では日本の平和と繁栄は望めません。本道の独立によって区民の暮らしが成り立つよう、今年も頑張ります。ゆうこ

### 正論の会

将来の持続可能な荒川区政を！少子高齢化で人口減・税収減が目。無理無駄を廃止しまともな教育や在宅介護の充実を実現させる。

### 改革の会

今年課題の多い年です。まずは区民の皆様と共に健康で安心して暮らす社会実現の為頑張ります。皆様の御多幸をお祈り致します。

### 各会派の構成

(平成25年12月27日現在)

<b>荒川区改革の会</b> 幹事長 藤澤 志光 1人	<b>あらかわ正論の会</b> 幹事長 浅川 喜文 1人	<b>日本創新党</b> 幹事長 小坂 英二 1人	<b>あらかわ元気クラブ</b> 幹事長 斉藤 裕子 1人	<b>民主党・市民の会</b> 幹事長 清水 啓史 副幹事長 瀬野 喜代 竹内 明浩 3人	<b>日本共産党</b> 荒川区議会議員団 幹事長 横山 幸次 小林 行男 安部キヨ子 斉藤 邦子 相馬 堅一 小島 和男 6人	<b>公明党</b> 荒川区議会議員団 幹事長 保坂 正仁 副幹事長 萩野 秀勝 菊地 智信 松田 智子 吉田 詠子 中村 尚郎 6人	<b>自由民主党</b> 荒川区議会議員団 幹事長 鳥飼 秀夫 副幹事長 北城 貞治 副幹事長 明戸 真弓 菅谷 元昭 若林 清子 小坂 眞三 服部 敏夫 並木 一夫 齊藤 泰紀 守屋 誠 志村 博司 12人
-----------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	---	--	---	---